

スギ花粉症の舌下免疫療法(SLIT)の治療薬【シダキュア】の薬価収載が本日(2018年4月18日)発表されました。

◆発売は2018年6月下旬を予定しています。

我が国において初めてのスギ花粉症の舌下免疫療法(SLIT)の治療薬【シダトレン】が、2014年10月8日、12歳からを対症として発売され、治療効果を上げてきましたが、本剤は、液剤であり、冷蔵保存のため、取り扱いにくい面がありました。

今回、治療効果のより高い【シダキュア】:力価5000JAU:維持量、室温保存のできる利便性の高い錠剤として、12歳以下の小児に使用できる薬として、薬価収載が発表されました。

◆治療効果も、これまでの【シダトレン】が2000JAUの維持量に対し

【シダキュア】は5000JAUで維持する製剤として、より高い治療効果を持つ、スギ花粉症に対する根本的治療薬として、小児も服薬できるようになりました。

◆発売は、スギ花粉の飛散時期には、過敏性が高まる危険性のあるため、2018年スギ花粉シーズンの終了した、6月下旬を予定しています。

(鳥居製薬プレスリリース:

[HTTPS://WWW.TORII.CO.JP/RELEASE/2018/20180418_1.PDF](https://www.torii.co.jp/release/2018/20180418_1.pdf))

シダキュア

発売：2018年6月下旬予定（年齢に関する制限なし）

維持量：5,000 JAU



シダキュア(鳥居薬品)

発売：日本：2017年中？（年齢に関する制限なし）

維持量：5,000 JAU (CRY J 1：約 3.5～10.5MG)

対象年齢も制限がなく（

に

【シダトレン】が、[HTTPS://WWW.TORII.CO.JP/RELEASE/2014/140902.HTML](https://www.torii.co.jp/release/2014/140902.html)

【シダトレン】が、12歳～として発売されていました。

・ヒノキ花粉飛散予測（第2報） 2018.1.5

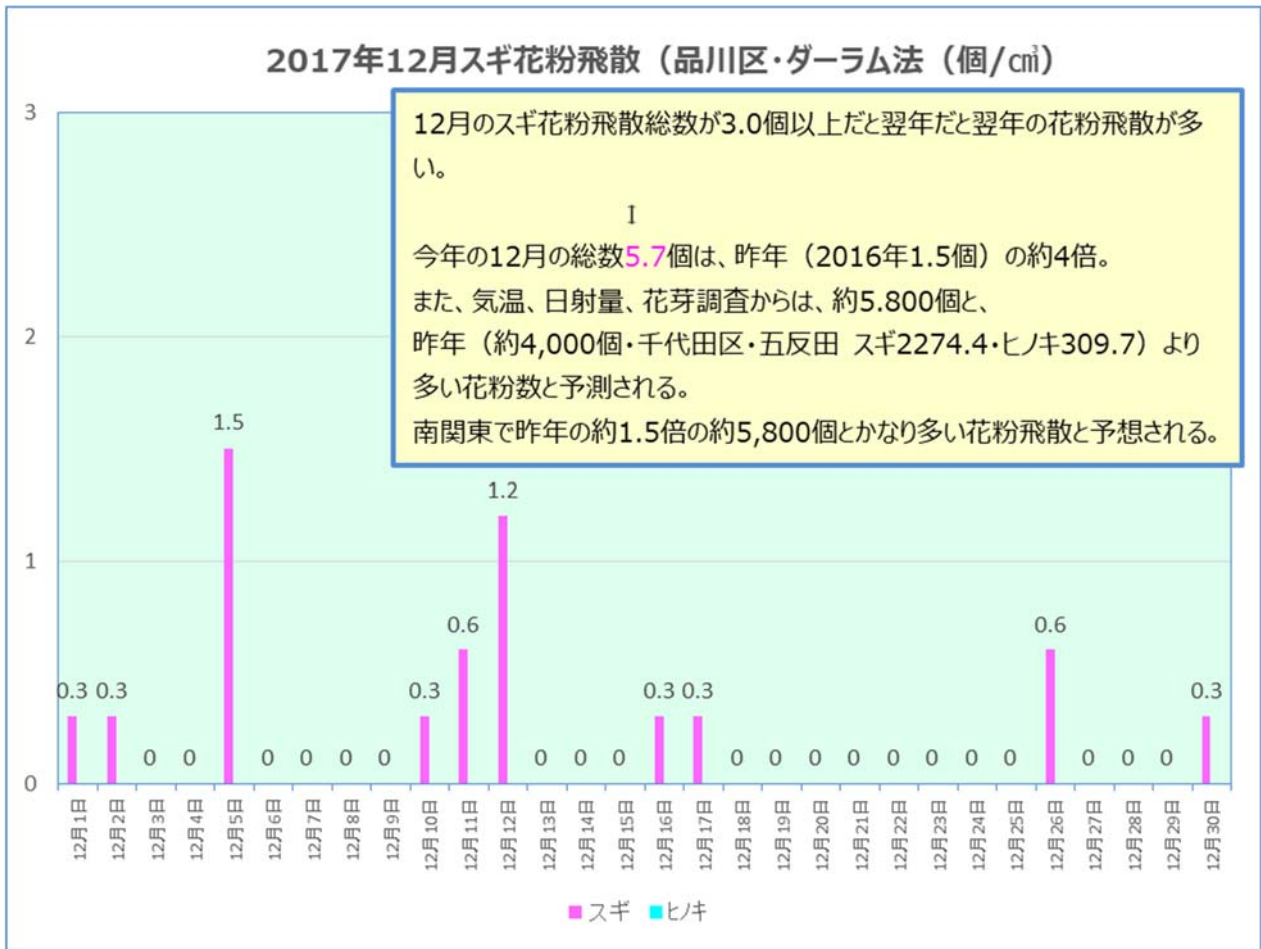
【秋のスギ花粉飛散・花粉の着花量からの2018年のスギ花粉飛散予測】

2018年には、全国的に見て、スギ花粉飛散量は前年より多くなる見込みであり、東北南部から関東、東海にかけて花粉飛散量はかなり多くなると予想されます。

◆前年 12 月のスギ花粉飛散

昨年 12 月にも、都内(品川区)でスギ花粉の飛散が昨年同様に確認されています。

毎年、秋には、スギ花粉をすでに花粉は成長し花粉が出来上がっているため、都内(品川区)でも、12 月中に、5.7(個・ダーラム法)のスギ花粉の飛散が観測されています。



これまでのデータより、12月に飛散する花粉が3個を超えると、翌年多くの花粉が飛散する傾向があります。

昨年12月には、5.7個と多い花粉が測定されたことにより、2018年は、都内において、昨年の約1.5~2.0倍の約5,800個の花粉が飛散する可能性が出てきました。

また、今後の気象条件は、昨年12月には気温が下がったため、花粉はこの時期に低温の刺激にさえられ、早く覚醒するようになります。年が明けてからは、気温がやや高い暖冬傾向が続き、その後、寒波が南下し寒くなると予想されています。長期予報では、「例年並み」か「例年並みよりやや高い」確率が70%となっており、2月には例年通りの気候になると分析されており、飛散開始は例年平均よりやや早くなる傾向(2月10日頃:都内)があると予想されています。